

いきいき
にこにこ

奈良学園小学校だより



奈良学園小学校 広報部



佐々木 扶実子

ブライマリー一年生学年主任

毎日が『はじめて』のP1生！

P1生にとっては、毎日が『はじめて』で『新しい』のです。
P1生は、先ず『教科書って何？ノートはどっち？』から始まります。教科書とノートの区別がはつきりしません。そんなスタートを切ったP1生はたった二週間しか経っていない今、机の右上に『下敷き・ノート・教科書・筆箱』を揃えて授業開始を待ち、教科書を開いて！という指示に応えることができています。これは日々繰り返される『ことば』による指示をしつかりと聞き続けているからなのです。初めてのことを自分のものにしていくと、一生懸命に聞いています。

先日学級でお話した『たんぽぽ』のお話—この辺りに咲くたんぽぽには、セイヨウタンポポと関西タンポポがあるんだよというお話—をよく聞いていたP1生は、おうちの近くの公園でタンポポ探しをしたのだとか。本当によく聞いていますね。そして、聞いたことをお家ですぐにやってみる…すてきな姿です。

P1生は、このようにして、日々小学生としての基本を積み上げています。積み上げられた基本は、やがて『学び』の土台となります。

P1のこれから始まる一年間は、長い学びの『揺るがない土台作り』の一年であります。

毎日の『はじめて』に瞳をキラキラ輝かせる姿はとても可愛く、これからの成長を思うと頼もしくもあります。そんなP1生たちとの毎日はとても楽しいものです。



P1の「いま」



4月20日よりP1生も半日授業ではなく通常授業が始まりました。少しずつ学校に慣れていきます。お着替えや片付けも一生懸命に取り組みます。

そんな一生懸命なP1生を、M2生が助けてくれます。お片付けも、「こう入れたらいいんだよ」「こうたたむんだよ」と急かすことなく優しく声を掛けます。

給食の配膳も手伝ってくれ、お食事と一緒にいただきます。

お姉さんお兄さんの姿を見て大きくなっていくP1生たち。感謝の心が芽生えます。



授業参観・校長講話



4月15日、16日、18日の3日間で2学年ずつ授業参観と校長講話を行いました。

新しいクラスに少しずつ慣れ始めた子どもたちの様子を、保護者の皆様に直接見ていただきました。

子どもたちは参観に来て下さった保護者の方を気にしつつも、一生懸命授業を受けていました。

授業の 一コマ

P3 体育



P2 算数



P4 図工



M2 社会



M1 理科

